

参議院議員

# イハ洋一 後援会たより



イハ洋一後援会（沖縄事務所）

〒901-2203 沖縄県宜野湾市野嵩2丁目1-8-101

TEL&FAX: 098-892-7734

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館519号室

TEL/03-6550-0519 FAX/03-6551-0519

Vol.01

2017年7月20日発行

[伊波洋一オフィシャルサイト]

[www.ihayoichi.jp](http://www.ihayoichi.jp)

基地のない  
平和な沖縄を



## CONTENTS

p2 ごあいさつ

p3 後援会共同代表あいさつ

p4 活動記録スナップ

p8 国会活動報告

p10 ホームページの紹介

p12 新聞記事（抜粋）

追悼 大田昌秀 元沖縄県知事

## ごあいさつ

参議院議員 伊波洋一



ハイサイ！グスーシー（御衆様）チュー（今日）ウガナビラ（拝なびら）。

参議院議員になって満一年の御挨拶を申し上げます。昨年7月10日の参議院選挙では、皆様の力強いご支持とご支援により、沖縄選挙区で投票終了同時のゼロ秒当確という沖縄の民意を示す誇りある当選をさせていただきました。心から感謝申し上げます。

私は、辺野古新基地建設に反対する沖縄の民意を示す当選ということを中心に刻み、辺野古新基地を押し付ける日米政府に負けることなく、平和で豊かな沖縄を築くために初心を貫いてがんばります。

7月26日から参議院議員としての任期が始まりました。8月1日～3日の特別国会で初登院し、国會議員バッジを付けてもらい、登院ボタンを押して赤絨毯の院内に入りました。

参議院では、先輩議員の糸数慶子参議院議員と会派「沖縄の風」を結成し、沖縄県民の声を国政に伝える活動を開始いたしました。「沖縄の風」を結成することで、国會議事堂の1階中央部に「沖縄の風」会派室ができ、会派会議を行い、本会議に臨んでいます。「沖縄の風」を結成することで、国会での位置づけが他会派と同等になり、糸数慶子議員が「沖縄及び北方問題に関する特別委員会」、私が「外交防衛委員会」に所属し、両委員会で沖縄に関する施策や基地問題を取り組んでいます。

私のHP ([www.ihayoichi.jp](http://www.ihayoichi.jp)) の「国会活動報告」で、ぜひ委員会議事録やビデオ映像、配布資料をご覧下さい。これまでに参院選挙直後の特別国会、昨年9～12月の臨時国会、今年1～6月の通常国会と、1年間の国会活動を経験しました。各委員会での質疑は計38回を数えました。4月13日の外交防衛委員会では一人50分の質疑時間があり、内10分は対総理質疑でした。外交防衛委員会では、主に辺野古新基地建設問題や高江ヘリパッド建設問題、嘉手納・普天間などの基地被害、宮古島・石垣島への自衛隊基地建設問題などを取り組みました。5月15日の行政監視委員会では沖縄の畜産振興のため、特にアグー豚や県産牛の海外輸出環境の整備を求めました。

国会開会中は、月～金は国会、土日は沖縄での活動です。東京では、火木の常任委員会、水金の本会議出席と参議院議員会館事務所での陳情や来客の応対と各省庁へのヒヤリング、特に委員会前の2、3日は関係省庁の“レク”で忙しくしています。レクチャーの略で、こちらの質問項目と各省庁の見解をお互いに説明します。多い時は各部局から十数名の担当者が来ます。その結果が、委員会議事録です。その他にも、衆参議員会館の会議室や議員会館前では、毎週のように各種の集会が行われており、私も数多くに参加しています。

「沖縄の風」は、子どもの貧困問題への対策、子育て支援の拡充、産業振興、離島問題など、沖縄の諸課題の解決に取り組んでまいります。今後とも、皆様には、私の国会活動へのご支援、ならびに沖縄での各種選挙や辺野古新基地建設に反対するオール沖縄の取り組みへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 伊波洋一（いはよういち）プロフィール

1952年宜野湾市生まれ。普天間高校卒。琉球大学理工学部卒業後、宜野湾市役所に入所。1996年より沖縄県議会議員2期7年。2003年より2期7年半宜野湾市長を務めた。2016年7月、参議院選挙で野党統一候補（無所属）として沖縄選挙区で初当選。座右の銘：基地のない平和な沖縄／著書「普天間基地はあなたの隣にある。だから一緒になくしたい。」「対論・普天間基地はなくせる」「沖縄とヤマト」（かもがわ出版）など

## 吹かせ！「沖縄の風」

イハ洋一後援会共同代表  
石川元平

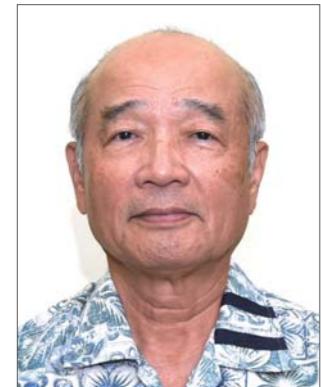


ハイサイ！グスーシー。ワッターヤーが現職大臣ウチ敗力チ当選サル時カラ、1年がスギヤビタン。チャーヤイビーガ。御万人がチカラアーチ、参議院議員カイ送タル洋一や、イッペーチバトゥイビーンヤー。クヌアトゥン、ユタシクウ願エサビラ…。

さて、イハ洋一は6月7日の天皇「退位」特別法案を審議する特別委員会で、参議院会派「沖縄の風」を代表して、貴重な意見陳述を行いました。沖縄戦につづく、47年の「天皇メッセージ」。ハーグ陸戦条約違反の占領米軍による基地建設問題。今日なおつづく辺野古、高江への新基地建設問題などに対する、沖縄県民の不屈の心を訴えました。一方、今上天皇の沖縄への慰靈の旅が10回に及んだこと。「女性天皇」が憲法でも禁じられていないことなど、視聴率の高い特別委での発言は、平和ボケしている国民の心に、新鮮な「沖縄の風」を吹き込んだに違いありません。

## 伊波洋一さんに期待する

イハ洋一後援会共同代表  
町田宗徳



参議院議員としての1年間の外交防衛委員会での大臣追及や発言内容は、市長、県議を通じた実践力、行動力を活かしたとても新人議員とは思えない活躍ぶりである。

公約を裏切らない信念と情熱は、県民と共に民主主義の理念に忠実であり、信頼のおける数少ない政治家といえよう。一連の国民主権を無視する権力者達の発言は、辺野古問題やお友達を優遇する病んだ社会を象徴しているのではないか。

私は、パスポートを得て本土の大学に進学後、滋賀県の田舎町で自転車の二人乗りを注意した警察官の「遠い沖縄の両親が心配している」との発言で、沖縄出身ゆえの一般学生まで監視対象になっていることに驚いた。県民の心に侵入する共謀罪なる現下の法案は国民主義に対するテロ法案ではないか。気がついたら自由に発言できない社会にしてはいけない。

伊波洋一さんに期待する所以である。

## 私たちも伊波洋一さんに期待します

イハ洋一後援会共同代表



宜野湾市長時代、県内で初めて中学卒業までの入院医療費を無料にした伊波洋一さん。貧困と格差をなくし翁長県政を国政から支えて奮闘してください。

宜野湾市長時代から普天間基地の閉鎖・撤去や日米地位協定の抜本改定を一貫して求めてきたブレない人です。オスプレイの配備撤回、普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設断念、建白書の実現へ向け最後まで頑張って。

翁長知事と力をあわせ、アジア経済戦略構想でアジアの活力を沖縄に取り込み、沖縄の自立経済を発展させ、県民のくらしを守り抜いてほしい。



## 活動記録スナップ



2016年7月27日 高江N1テント前





# 国会活動報告

193回通常国会（平成29年1月20日～6月18日）の期間中、辺野古の新基地建設に反対する多くの市民が座り込むキャンプ・シュワブゲート前と国会を行き来しながら、所属する各委員会で沖縄問題を質疑した。国会での委員会質疑の内容をわかりやすくまとめて紹介します。

3月9日 参議院外交防衛委員会

## 普天間基地の危険性除去を強く求めた

米連邦航空法では、墜落事故の危険性の高い滑走路の両端900メートルを「クリアゾーン」に指定している。普天間基地ではクリアゾーン内に普天間第二小や新城児童館、上大謝名公民館など18の公共施設があり、3600人の住民が生活している。普天間基地には、日米地位協定の実施に伴う「航空特例法」により、日本の航空法の安全基準が適用されていない。外交防衛委員会では、辺野古移設とは切り離して普天間の危険性除去に取り組むよう、日本政府に強く求めた。



4月13日 参議院外交防衛委員会

## 安倍晋三総理大臣質疑

高江オスプレイパッド工事は、やんばるの貴重な自然を破壊して強行されたが、米軍には環境を保全し希少生物を保護することが義務づけられており、これからも米軍の運用を規制・停止するよう求める根拠はある。4月13日の対総理質疑では、この点の認識も含め、沖縄戦に対する認識、辺野古新基地・高江オスプレイパッド・先島への陸上自配備など沖縄を再び戦場にする動きではないか、米軍に追従して貴重な自然を破壊し主権を放棄するような政策は改めるよう、強く求めた。



5月11、18日、25日 参議院外交防衛委員会

## 宮古島陸上自配備の問題点を指摘

5月11、18、25日の委員会では、先島への陸上自衛隊配備計画について質疑した。宮古島では、700～800名規模の警備・地対艦ミサイル・地対空ミサイル部隊の千代田カントリー跡地への配備を皮切りに、司令部・弾薬庫・射撃訓練場などをさらに新たに島内に整備すること、トンネルや壕を掘るために施設部隊の展開、駐屯地から出てミサイル部隊が展開すること、平良港の軍事利用増加の可能性などが明らかになった。「南西防衛」は、米国の戦略に基づき、南西諸島を戦場として、中国軍の太平洋進出を阻止するための限定戦争を行うため、島民を巻き込んで島全体を要塞化するものだと指摘した。



5月15日 参議院行政監視委員会

## 食肉輸出施設の整備と認定取得の支援を訴えた

アグー豚や本部牛・石垣牛が高く評価されるなど、畜産は沖縄県の農業産出高の5割弱を占める重要な産業。県産食肉輸出の拡大は沖縄経済に大きな可能性をもつていて。輸出食肉は、衛生管理の国際基準HACCP(ハサップ)に加えて、相手国の認定を取得した食肉施設で処理する必要がある。現在、すべての県産牛肉と香港向け以外の豚肉は、いったん県外の輸出認定施設で処理した後、沖縄に戻して輸出しており、県内施設の輸出認定の取得が課題になっている。5月15日の行政監視委員会では、厚労省、農水省、内閣府にこの問題への支援と取り組みの加速を訴え、各省から前向きの答弁を得た。



6月7日 参議院天皇の退位等に関する皇室典範特別法案特別委員会

## 天皇生前退位問題について

今上天皇は、6月23日の沖縄慰霊の日にはご家族で祈りを捧げてこられた。2016年8月の「おことば」は、戦後日本のあゆみ、日本国憲法の理念の象徴としての役割を果たせなくなる前に生前退位の制度を創設してもらいたい、という天皇の想いではないか。琉球処分と皇民化、沖縄戦、米軍統治、復帰と、特に昭和の時代の天皇制に複雑な思いが存在することは否定できないが、今上天皇の10回にのぼる沖縄訪問の努力もあり、保守革新独立論を超えて、県民も現時点では象徴天皇制を受け止めているのではないか。皇室典範特別委員会では、日本国憲法の原則に立って、生前退位と女性・女系天皇を創設する皇室典範改正を求めた。



6月15日 参議院外交防衛委員会

## 辺野古K9護岸工事、石材洗浄問題を徹底追及

4月25日から強行される辺野古K9護岸工事。現場では石材の投下により海が白濁し、粉塵が舞い上がっており、環境破壊を減らすための埋立用石材の洗浄がなされてないことが疑われている。6月15日の委員会では、前知事の「埋立承認書」の「留意事項」に違反するとして追及したが、防衛省は後日、一部作業ミスがあったことを認めた。



インターネットで国会活動がご覧いただけます!



パソコンやスマートフォンなどからホームページにアクセスすれば、私の国会活動がご覧いただけます。国政報告、国会

質問、議事録一覧、動画や関連資料などを

下記のサイトで見ることができます。

<http://ihayoichi.jp/report/>

參議院

參議院

外交防衛委員會

-第34委員會室-

開会日	2016年12月8日
會議名	外交防衛委員會
審議時間	約2時間1分



# 沖縄の声を国会へ 未来を決めるのは私たち!

伊波洋一参議院議員の委員会質疑は累計38回、  
質疑時間の合計は9時間32分に！

初当選後の参議院委員会質疑では、191回臨時会の外交防衛委員会（2016年9月14日）を皮切りに、192回臨時会（2016年9月26日～12月17日）で外交防衛委員会、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会で高江オスプレイパッド問題を徹底追及した。

193回通常国会（2017年1月20日～6月18日）では、外交防衛委員会・北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会に加え、国際経済・外交に関する調査会、行政監視委員会、天皇の退位等に関する皇室典範特例法案特別委員会でも質疑を行った。政府が沖縄の民意を無視して強行する辺野古新基地建設問題や普天間の基地問題、宮古島陸上自衛隊配備問題についても政府の姿勢を質した。

就任直後の191回臨時会と192回臨時会、今年に入ってからの193回通常国会での質疑回数は38回となり、質疑の時間合計は9時間32分にも及んだ。

(国政報告、国会質問と議事録一覧は下記のサイトをご覧ください。)

回次	会議名	日時	質疑時間(分)
191国会(臨時会)	参議院 外交防衛委員会	2016年9月14日	10
192国会 (臨時会)	参議院 外交防衛委員会	2016年10月20日	20
	参議院 外交防衛委員会	2016年10月25日	25
	参議院 外交防衛委員会	2016年10月27日	7
	参議院 外交防衛委員会	2016年11月22日	10
	参議院 外交防衛委員会	2016年11月24日	10
	参議院 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会	2016年12月7日	10
	参議院 外交防衛委員会	2016年12月8日	20
193国会 (通常国会)	参議院 国際経済・外交に関する調査会	2017年2月8日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年2月9日	10
	参議院 国際経済・外交に関する調査会	2017年2月15日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年3月9日	20
	参議院 外交防衛委員会	2017年3月21日	20
	参議院 外交防衛委員会	2017年3月22日	15
	参議院 外交防衛委員会	2017年3月23日	20
	参議院 外交防衛委員会	2017年3月30日	10
	参議院 国際経済・外交に関する調査会	2017年4月12日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年4月13日	50
	参議院 国際経済・外交に関する調査会	2017年4月19日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年4月20日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年4月25日	20
	参議院 国際経済・外交に関する調査会	2017年4月26日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年5月9日	10
	参議院 国際経済・外交に関する調査会	2017年5月10日	10
	参議院 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会	2017年5月10日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年5月11日	25
	参議院 行政監視委員会	2017年5月15日	15
	参議院 外交防衛委員会	2017年5月16日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年5月18日	15
	参議院 外交防衛委員会	2017年5月23日	15
	参議院 外交防衛委員会	2017年5月25日	15
	参議院 外交防衛委員会	2017年5月30日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年6月1日	15
	参議院 外交防衛委員会	2017年6月6日	30
	参議院 天皇の退位等に関する皇室典範特例法案特別委員会	2017年6月7日	15
	参議院 外交防衛委員会	2017年6月8日	15
	参議院 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会	2017年6月9日	10
	参議院 外交防衛委員会	2017年6月15日	15



伊波洋一オフィシャルサイト  
<http://ihayoichi.jp>



公式Twitter  
<https://twitter.com/ihayoichi?lang=ja>

国会内外で活動する伊波洋一参議院議員とそれを支えるイハ洋一後援会の活動へのご支援をよろしくお願ひいたします。

【郵便振替】口座番号:01740-5-122219 口座名:イハ洋一後援会

# 新聞記事（抜粋）

参議院議員伊波洋一の活動や  
発言を紹介した新聞記事を抜粋  
して掲載します。



記者のメモ

## 国政に「沖縄の風」意欲



○：国会議員として初めて激励

会を地元の宜野湾市で開いた伊波  
洋一参議院議員（沖縄の風）。参院選  
区の4議席、参院の選挙区2議  
席すべてがオール沖縄の議員に  
なった。その1議席を勝ち取れた  
ことを誇りに思つて辺野古反対  
の立場を改めて強調。1996年  
の県議初当選から20年目の国政進  
出に「意義深い節目の年になつた  
と感概深げ。参院では糸数慶子氏  
と会派「沖縄の風」を立ち上げ、  
県選出の衆院議員とともに沖縄  
の未来を切り開くこと会派名通り、  
国政で風を吹かせる意欲は満々。

沖縄タイムス 2016年9月5日

## 「沖縄の風」どこまで



記者席

琉球新報 2016年9月3日

## 硬軟織り交ぜて



記者席

琉球新報 2017年3月23日

伊波洋一氏  
参院議員



琉球の浜で県民大会が開かれる意  
義は極めて大きい。目前に広がる  
大浦湾を見ながら、この辺野古に新  
基地は絶対に造らせないという決意  
をしてほしい。

1950年代に米軍が「統制」とア  
ルド・ザーで県民の土地を奪った。  
安治政権は機動隊と海上保安庁の力  
で辺野古の海を奪った。何のために  
辺野古新基地を作り、先島に自衛隊  
基地を造るのか。日本国内で戦争を  
するためにではないのか。自衛隊、国民を殺してはならな  
い。日本が憲法9条、平和を守ること  
が求められている。沖縄から「戦  
争への道」を止めよう。

沖縄タイムス 2017年5月15日

# 追悼 大田昌秀氏



沖縄国際平和研究所にて（2016年9月17日撮影）